

## 蒲生干潟周辺の塩分濃度 74

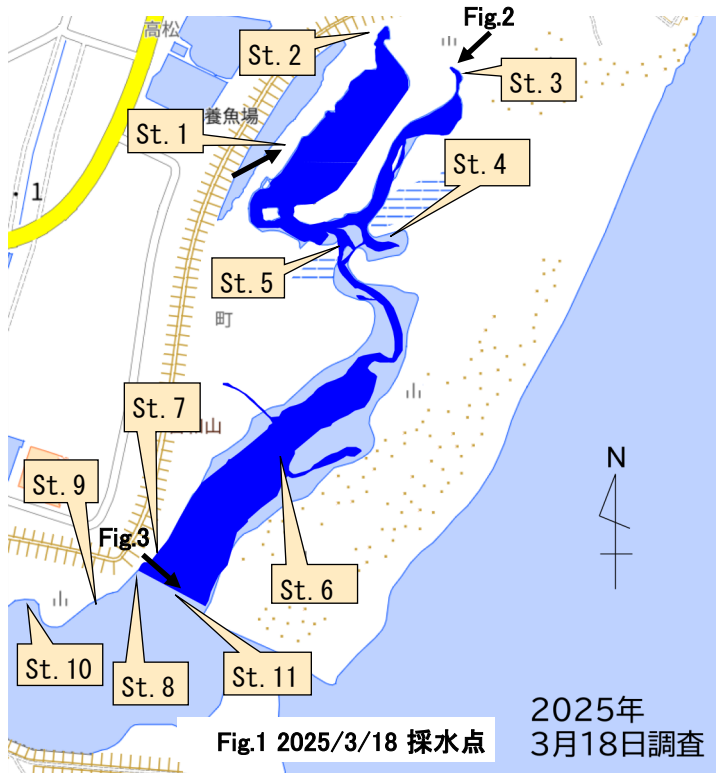


Table.1 2025. 3月 塩分濃度(%)

採水点	2025 3/18	2025 2/28	増減	2024 3/28	増減
St. 1	2.8	2.0	0.8	1.0	1.8
St. 2	2.0	0.3	1.7	1.2	0.8
St. 3	1.8	-	-	1.2	0.6
St. 4	2.7	3.2	-0.5	2.0	0.7
St. 5	2.8	2.1	0.7	1.9	0.9
St. 6	2.8	3.4	-0.7	2.8	0.0
St. 7	3.3	3.4	-0.1	2.1	1.2
St. 8	3.2	3.3	-0.1	2.4	0.8
St. 9	1.6	3.4	-1.8	-	-
St. 10	1.5	3.2	-1.7	0.3	1.2
St. 11	2.2	3.2	-1.0	2.5	-0.3

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 St.3付近 最北端部の水の張りの様子



Fig.3 流されて導流堤に乗り上げた流木

調査日時：2025年3月18日（火）9:45~11:00（干潮 11:52 潮位 20cm），天気：晴れ

干潮前の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2025.3月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2025.2月，2024.3月）結果と比較した。

干潮前のため潟湖内の水量は少なかったが、干上がる場所はなく形をしっかりと保っていた。St.3付近の最北端部も水が満ちていた（Fig.2）。また、多くの漂流物が普段の汀線よりかなり外側まで流れ着いており、導流堤にも流木が乗り上げていた（Fig.3）。3月16，17日は、仙台の海上に暴風・高波警報が発表されていたため、昨日まではかなりの水量があったことが予想される。そのためか、塩分濃度は北側の深い部分（St.1，2）が、先月よりも高い値を示した。2025年に入り、昨年の年平均を大きく上回っている状態が続いており、今後の変化に注視したい。

（沼尾和弥）